

神奈川県地域防災拠点だより



暑い時期が長く続いたと思えば、急に寒くなり、秋らしい日が続いていますね。朝晩の寒暖差が大きい時期は体調を崩しやすくなります。皆様、ご自愛いただき、引き続き地域防災活動への御協力をお願いいたします。



区役所からの事務連絡



今年度新たに配備した備蓄品について

地域防災拠点での授乳体制を整えるため、今年9月に新たに液体ミルク24缶、ミルク調乳などに活用できるカセットコンロ・カセットボンベ・なべを1セット配備しました。防災訓練や備蓄庫整理時などに、御確認いただきますようお願いいたします。



液体ミルク(200ml缶)



カセットコンロ



なべ

ペットの一時飼育場所の選定について

災害発生時、地域防災拠点へ犬や猫等と同行避難をする飼い主がいます。ペット同行避難によるトラブルを減らすため、あらかじめペットの一時飼育場所を設定しておくことが大切です。

今年度、ペットの一時飼育場所の設定と報告について依頼をしております。「ペットの一時飼育場所事例集」も参考にしながら、設定検討をお願いいたします。

神奈川県生活衛生課でも御相談をお受けしておりますので、拠点参加を通じて御連絡ください。

- 報告期限: 令和7年3月14日(金)
- 報告様式: ペットの一時飼育場所等報告書※
- ※ 報告書の様式はホームページからもダウンロードできます。



災害時ペットの一時飼育場所設置事例集



報告書様式

拠点コラム

～南海トラフ巨大地震について～

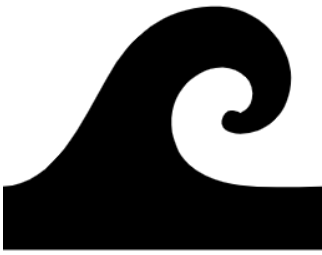
令和6年8月8日に宮崎県で最大震度6弱の揺れを観測した地震を受け、南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震への注意を呼びかける「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が初めて発表されました。また、その翌日(令和6年8月9日)にも神奈川西部を震源とする最大震度5弱の地震が発生し、強い危機感をもった方も多いと思います。

南海トラフ巨大地震が発生した場合、横浜市内では広い範囲で震度5弱～5強、一部で震度6弱の揺れがくると想定されます。横浜市における南海トラフ巨大地震の特徴や、神奈川区の被害想定は次のとおりです。

横浜市の南海トラフ巨大地震被害特徴

- ① 液状化による建物被害が、揺れによる建物被害を上回る
- ② 国内広域での被害が予測されるため、人材・物資等の不足が懸念される
- ③ 津波による建物被害や交通施設の浸水区間が、慶長型地震に次いで多数発生する

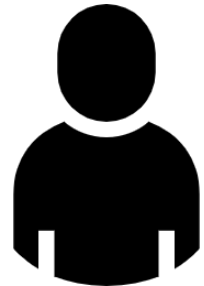
神奈川区の被害想定



建物被害棟数:3562棟
(津波浸水による全半壊)



建物被害棟数:330棟
(液状化による全半壊)



津波による死者数:32名

南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて

臨時情報に伴う特別な呼びかけは終了していますが、地震はいつ起こるか分かりません。発災時に地域防災拠点をスムーズに開設・運営するには、日頃からの備えが重要です。

- ・ 拠点開設マニュアルや鍵の所有者を今一度確認してください。
- ・ 拠点訓練実施後は、訓練の振り返りをお願いします。
訓練で上手くいった点、改善した方が良い点などを振り返ることで課題が明らかになり、発災時の拠点開設・運営の際にも役立ちます。

防災の意識を向上させるためにも訓練は必ず実施しましょう。
訓練を実施するときは、けが等に気を付けてください!
次回の地域防災拠点だよりは、冬頃の発行を予定しております。

